



熊谷市明日の農業担い手育成塾
～新時代の農業を担う!!～

埼玉県農業大学校



新時代の農業を担う!!

埼玉県農業大学校について



平成27年4月に熊谷市樋春へ移転した埼玉県農業大学校は、農業およびその関連産業の担い手を育成するとともに、県民の農業および食料に関する理解を深めることを目的として設置されています。

埼玉県産の杉をふんだんに使った講堂、ゼミ・教室棟、実験棟等は、延床面積7,753㎡で木の香りとぬくもりを感じます。また敷地内に校内実習ほ場28,783㎡、実習棟など14棟、農業用ハウス22棟(9,111㎡)などがあります。校外の実習用水田4.3ha、農業技術研究センター内の牛舎や植木ほ場と併せて、学生の夢と市場ニーズに合った実践力を養えるようになっています。総合教育センター江南支所の練習コースを利用したトラクターや牽引免許取得、フォークリフトなどの資格取得など即戦力となる様々なカリキュラムが

用意されています。食堂、学生寮を完備しており、その充実した設備、カリキュラムにより関東圏内はもちろん、九州からの学生もいます。

販売実習は、月・金 14:00~15:00(不定期)で、学生が丹精込めて育てた野菜、米、花、植木などの農産物を販売しています。学生たちがレジや陳列を担当し、オススメの品や調理の仕方、育て方のコツなど学習と実践で養った知識と技術をフレンドリーに伝えることも好評で、新鮮な農産物はもとより、この触れ合いを楽しみにしているお客さんも大勢います。こうした交流や、お客さんの喜ぶ姿がさらに学習意欲の向上にもなりますので、まだ訪ねたことの無い方は是非足を運んでみてはいかがでしょうか。実施日程は、埼玉県農業大学校ホームページをご確認ください。



令和7年度埼玉県農業大学校学生募集のお知らせ

埼玉県農業大学校で実践力を身に付け、農業への道を目指しませんか。

同校には2年課程(4学科6専攻)と1年課程(1学科2専攻)があり、実習中心のカリキュラムにより、目指す農業経営に応じた技術を学ぶことができます。また、2年課程では希望進路に応じて専攻を横断したコース別学習(自営就農、農家子弟、就職就農、関連産業)を行い、進路決定をサポートしています。

募集人員、入試日程は下表のとおりです。詳しくは、同校または大里農林振興センターまでお問合わせください。



募集人員

学科(専攻)	人員
野菜(施設栽培,露地栽培)	30
水田複合(水田複合)	5
花植木(花き,植木造園)	15
酪農(酪農)	5
短期農業(短期野菜,有機農業)	35

※短期農業学科は1年課程、他は2年課程

入試日程

入試区分	出願期間	試験日
推薦入試	R6.10.1(火)~10.10(木)	R6.10.29(火)
一般入試	2年課程 R6.11.1(金)~11.10(日)	R6.11.28(木)
	1年課程 R6.12.10(火)~12.20(金)	R7.1.9(木)

【お問合わせ】 埼玉県農業大学校 ☎048-501-6845
大里農林振興センター農業支援部 ☎048-526-2210

熊谷市明日の農業担い手育成塾の取り組みについて

「入門研修」

熊谷市担い手育成協議会(事務局:農業政策課)では、現役のベテラン農家の方々に協力いただき、新たに就農を考えている方で、未経験者または農業経験が少ない方を対象に、基礎となる農作業等の入門研修を行っています。この研修は、社会人や学生でも参加できるよう、基本的には週末を中心に(平日でも可)週1回から隔週1回程度で、およそ半年にわたり実施します。具体的なスケジュールは研修生と指導農家の方の話し合いにより決定されます。また本格的な就農に向けて「熊谷市明日の農業担い手育成塾実践研修」への足掛かりとしても利用できます。

「実践研修」

熊谷市民の方や、熊谷市に移住し、本格的に農業経営を始めようとする意欲的な方が、指導農家の手ほどきを受けながら研修農地にて自身で農作物の栽培等を行い、栽培技術や経営手法を習得します。研修期間は、原則として2年以内(研修の農業従事日数は、原則年間150日以上)です。

「熊谷市明日の農業担い手育成塾」入門研修および実践研修に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、農業政策課(☎048-588-9990)までお問合せください。詳細を御案内いたします。

現在、自身の夢の実現に向けて実践研修中の方を紹介します。



池田 匡さん(左)
(埼玉県農業大学校卒、トマト)

久保田 修司さん(指導農家)

中学生の頃から、第1次産業に興味を持ったものの、普通科の高校へ進学。その後は、農業への興味が再燃し、埼玉県農業大学校に入学し、施設栽培学科を専攻しました。当育成塾入門研修を経て、卒業後は、実践研修で本格的に指導を受け、現在、久保田農園でトマト栽培の研修中です。今後は、キュウリ、トマト、イチゴなどの施設栽培を中心に、農業の魅力、作物の栽培や販売する楽しさを発信しつつ、在学中に取得した食品衛生責任者の資格を生かし6次産業化と法人化を目指します。



大久保 正彦さん(左)
(ブロッコリー、トウモロコシ、ロロンかぼちゃ)

吉田 一豊さん(指導農家)

25年間会社に勤めていましたが、農業に携わりたい気持ちが高まり、勤務の傍ら、休日には県内の数力所の関係行政機関に就農について相談し、週1回程度、近隣の農家で農業従事しました。退職後、さいたま市の小松菜栽培の大規模農家へ就農しつつ、当育成塾入門研修を行ったところ、自分が求める野菜作りが熊谷市で出来るのを感じました。令和5年9月熊谷市へ移住するとともに農業に本腰を入れ、11月からの入門研修、実践研修で指導を受けています。現在は、ブロッコリー、トウモロコシ、ロロンかぼちゃを作付けし、今後、JAふれあいセンターや市場へ出荷予定です。



田村 真也さん(中央)
(埼玉県農業大学校卒、ネギ)

田沼 唯利さん ちづ子さん(指導農家)

令和5年埼玉県農業大学校短期農業学科に在学中、ネギに興味を持ち、経営品目に決定。夏頃から、週1回程度、田沼農園の農作業に従事しました。卒業後は、当育成塾実践研修で、週5日ネギの育苗、作付け、出荷の実践的な指導を受けています。現在、7aの農地にネギを作付けし、今後、市場へ出荷予定です。

独立就農した際には、年間を通した栽培を目標としていますので、作型ごとの栽培技術を学びたいと考えています。

農機具や農業用倉庫等の情報を募集しています

新規就農者は、農地が見つかったとしても、トラクターなどの農機具や、出荷調整や農機具を保管する倉庫が用意できず、困っている状況です。使用していない農機具や農業用倉庫等を新規就農者に貸せる、譲れる等の情報がありましたら、農業委員会事務局(☎048-501-5501)までご連絡ください。

農業委員会総会における審議件数

農業委員会総会は、毎月1回開催され、農地の貸借や農地転用の可否を審議しています。下表のとおり、年間の取扱件数とその推移をお知らせします。

		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		件数	筆数	面積 m ²	件数	筆数	面積 m ²	件数	筆数	面積 m ²
3条 農地の所有権移転	市街化・調整	102	293	247,711	97	228	217,157	142	274	246,598
	市街化	39	73	21,355	38	58	21,761	30	46	14,812
4条 自己所有農地の転用	調整	24	35	18,134	8	4	1,996	24	28	5,836
	市街化	191	303	97,472	209	359	90,076	178	318	87,401
5条 農地の貸借権の設定または 所有権移転を伴う転用	調整	236	506	179,052	169	353	131,347	187	475	167,238
	市街化	490	917	316,013	424	774	245,180	419	867	275,287
4・5条 合 計		490	917	316,013	424	774	245,180	419	867	275,287
農用地利用集積計画(貸借)			3,138	3,814,375		2,557	3,234,756		3,372	4,646,656
内 農地中間管理事業			578	887,550		689	927,185		487	812,446

◆農業委員会事務局 ☎048-588-9985

ジャンボタニシから稲を守りましょう

全国でジャンボタニシ(正式和名:スクミリンゴガイ)の発生が増えています。地域ぐるみで防除に取り組み、食害を防止しましょう。

ジャンボタニシとは?

淡水巻貝の一種で、水稻等を食害します。40年ほど前に食用目的で日本に輸入されましたが、消費者の嗜好に合わず、養殖業者の廃業等によって農業用水路や水田で野生化したといわれています。

市内では旧妻沼地区や奈良・中条地区を中心に発生および被害の報告が寄せられています。



【特徴】

- 殻高は2〜7センチメートル程度
- 螺旋上部の長さが短い
- 長い触角を持つ
- 卵塊は鮮やかなピンク色



食害が生じやすい場所は?

ジャンボタニシは、田植え後約3週間までの柔らかく小さな苗を食害します。また、深水となった部分では活動が活発になるため、被害が生じやすくなります。

どうやって防除すればいいの?(春夏編)

①水口網の設置

田植え前の入水時から田植え後3週間まで、取水口・排水口に9ミリメートル目合い程度のネットや金網を設置しましょう。

②田植え後の浅水管理

田植え後約3週間は水深を4センチメートル以下に維持しましょう。

③効果的な薬剤散布

ジャンボタニシの発生状況や水管理の状態に応じて、効果的な薬剤散布を行いましょう。

薬剤購入補助、今年もやります!

【対象薬剤】

- スクミノン ● スクミンベイト3
- パダン粒剤4 ● スクミハンター

※JAくまがやで購入したものが対象となります。

【必要書類等】

- 購入した商品名や金額、数量がわかるもの(納品書等)
- 散布場所がわかるもの(営農計画書等)
- 通帳(JAのみ) ● 印鑑

【受付場所及び問合せ】

◆熊谷市病害虫防除協議会(事務局:農業政策課)
☎048-588-9987

市民の皆様へのお願い

ジャンボタニシを川や田んぼ等に放流しないようご協力お願いします。また、貝には寄生虫がついている可能性があり、卵には毒性がありますので、触らないようにしましょう。

農地パトロールを実施します

今年は9月に農地パトロールを実施します。

帽子とベストを着用した農業委員と農地利用最適化推進委員が、市内の農地の利用状況等を調査します。

調査にあたり、農地内に立ち入ることもありますが、ご理解ご協力をお願いします。



〈苦情は毎年100件以上〉

令和5年度では、農地に関する苦情が219件ありました。

適正な管理を怠ると、雑草や樹木の繁茂により様々な問題が発生します。

夏は雑草が伸びるのも早くなります。作付けをしていない農地や管理を任されている農地等の草刈りをお願いします。

◆農業委員会事務局 ☎048-501-5501

JAくまがやのアグリサポート事業と連携し 農地の除草費用の40%を補助します。

要 件

- 遊休農地であること
- 熊谷市農地バンクへ登録すること
- 当該制度の利用が初めて又は初回利用日から1年未満であること



注意事項

- 複数回申請可能ですが、初回作業日から1年間の限度です。
- 補助額の上限は10万円です。
- 100円未満は切り捨てになります。

除草耕うん等の受託について

- 除草依頼の受付はJAくまがや本店(生産指導課)、各営農経済センター、各支店まで
- ※原則として5、6、10、11月は除く。
※費用が1万円以上は、別途印紙代が必要になります。

連絡先

補助金について

◆農業委員会事務局(妻沼庁舎内) ☎048-501-5501

除草作業について

◆JAくまがや営農部生産指導課 ☎048-524-8721

アグリサポート除草単価

項 目	単価(10a当たり)
ほ場整備済の農地	6,500円～20,000円
未整備農地又は狭小農地	7,500円～25,000円
畔の除草	2,500円(1a当たり)
投棄ごみ等の収集、処分費	現場確認後に見積り

農地バンクについて

- 管理ができない農地を登録することで、耕作者を探す手伝いを行っています。
- ※登録しても耕作者が見つからない場合もあります。
※登録したからといって管理をしなくて良いわけではありません。

令和6年度農業施策に関する意見書についての回答

農業委員会が昨年10月に市長に対して提出した「熊谷市農業施策に関する意見書」に対し、次のとおり回答がありました。農業委員会としても今後も市の施策に協力しながら、農業の発展のために活動してまいります(主要事項のみ掲載します)。

■ 遊休農地対策について

担い手が安定的かつ効率的に農業経営を行うには、農業機械の導入が不可欠です。国県等の補助事業を注視し、適宜情報提供を行います。また、市単独補助事業の「元気な農業支援事業」により、認定農業者や認定新規就農者および農産物年間販売額50万円以上の農業者を対象に、農業機械購入費の一部を補助します。

■ 担い手の育成・支援について

農業資材、燃料代等の経費及び機械代の補助については、国県等の施策の情報提供を迅速に行うとともに、市単独補助事業として「元気な農業支援事業」を継続していきたいと思います。新規就農者支援体制の拡充は、担い手育成塾の塾生の研修費用の支援を拡大し円滑な就農を図ります。

■ 農地中間管理事業の丁寧な説明について

農地の貸借が農地中間管理事業に一本化されることについては、地域計画の話し合いの中で、関係機関等の担当者が出席し、制度の説明、質疑応答に当たっています。当制度に関連する機構集積協力金交付事業による交付金は、地域計画の策定(令和6年度は話し合いの実施)が前提となるため、話し合いと並行して説明をしてまいります。

道路に泥を落とさないように注意しましょう。

農繁期は作業のために農業用車両が道路を通行する機会が多くなります。

トラクター、田植機、コンバイン等を使用した農作業の後に田や畑から公道に出る際には、機械に付いた泥のかたまり等を落としてから走行するようお願いいたします。車道や歩道に落ちた泥のかたまりは、自動車等の通行の妨げになるおそれがあり、大変危険です。万一、道路を汚してしまった場合は、速やかに泥の撤去、清掃をお願いします。

地域の交通安全と環境美化のためにご理解とご協力をお願いします。

◆農業政策課 ☎ 048-588-9987

農薬は適切に使用しましょう

農薬を使用する際は、使用方法や注意事項を厳守し、散布区域外に飛散しないよう十分注意してください。できるだけ農薬以外の防除方法を検討し、やむを得ず農薬を散布するときは、事前に周辺住民や施設利用者等に周知するとともに風向きなどに注意して、事故防止に努めてください。

◆農業政策課 ☎ 048-588-9987

よもやま話

地域計画に思う

農業委員 北部第1地区

大鷲 利夫



旧妻沼町男沼地区は、昭和30年代後半に大規模な耕地整理が行われ、桑畑がなくなり養蚕から露地野菜へと変化し、農業そのものが新しいものとなっていきました。出荷組合もでき、生産物は東京の市場へと出荷されました。当時は、葉物野菜を始め、いろいろな野菜へと栽培作物も多様化しました。その中でも、ビニールを使ったトンネル栽培により作られたカブ、大根、人参等の春野菜は、市場から強い信頼を得

ていました。世間も高度成長期で作れば売れる時代で、農家の収入も飛躍的に伸び、さしずめバブルだったのでしょう。50年代以降になると、機械化も進み、働き方も変化し作目も絞られ、現在の基礎となりました。近年、天候は雨が続きたり、日照りが続きたり偏りが激しかったり、従来見られなかった害虫が発生したりと、野菜作りの環境は厳しいのが現状です。時代を支えた先人たちも年齢を重ね、現在の地域の農業に携わる中心年齢も70歳半ば以上となり、この先10年後となると農業人口も減り、少ない後継者たちによりどんな農業になっているのか?心配半分、楽しみ半分といったところです。耕地整理から60年、今が岐路なのかもしれません。

自宅地域の変化に思う事

農地利用最適化推進委員 東部第1地区

稲村 文男



私は今、上之地区に住んでいます。上之でも東の地域で、隣は星宮地区(池上)です。私の小さなころは、家では米作を始め、苺、キュウリ、麦などを作付けしていました。また、近くに菜種油の製油所があり、菜種も

作付けしていました。田植えや稲刈りは、家族総出で、稲は、家に運び脱穀をして天日干しをしていました。家の裏には、きれいな水が湧き出ていて、家のまわりは田が一面にありました。その後、国道17号バイパス、谷郷バイパスができ、道路も整備され、家も出来て60軒ほどの集落となり、大きく変化をしていますが、今でも「琵琶のこ」という池ではきれいな水が湧き出ています。私もこれから農業を続けていきたいと思うこの頃です。

ふれあい農園利用者募集

随時申込みを受け付けておりますので、まずは下記へお問い合わせください。



大里ふれあい農園

【場所】熊谷市玉作地内
【募集区画】7区画
【区画面積】30㎡/区画
【使用料(年間)】3,080円/区画
◆大里行政センター地域振興係
☎0493-39-4805

めぬまふれあい農園

【場所】熊谷市弥藤吾地内
【募集区画】2区画
【区画面積】①11坪/区画
②12坪/区画
【使用料(年間)】①4,030円
②4,400円
◆農業政策課
☎048-588-9987

JAくまがやが設置するふれあい農園

【場所】熊谷市久保島地内
【区画面積】①30㎡/区画
②50㎡/区画
【利用料(年間)】①7,700円
②11,000円
◆JAくまがや西部営農経済センター
☎048-533-3911

夏本番！熱中症対策は万全に！

- 水分や塩分はこまめに少しずつ補給し、お互いに声かけを行うなど、定期的に異常がないか確認しあうようにしましょう。
- 通気性がよい服装、帽子等で直射日光を避けましょう。
- 濡れタオルや保冷剤をくるんだタオルを首筋に巻くなどして、体温低下に努めましょう（機械作業を行う際は、タオルが回転部分に巻き込まれないように、タオルの端を服の中に入れ込むなど注意してください）。

◆農業委員会事務局 ☎048-501-5501

がん検診を受けましょう！



健康管理のため計画的にがん検診を受けましょう。
熊谷市国保、後期高齢者医療制度などの加入者は検診費用が**無料**になります。
がん検診を希望される方は、事前に熊谷保健センターへ受診券をお申し込みください。

詳しくは右記コードからご確認ください。

お問合わせ 熊谷保健センター ☎048-526-5737



特定健診・長寿健診を受けましょう！

約1万円の健診が**無料**で受けられます！

現在通院中の方も受診できますので、ぜひ受診してください。

健診名	対象者	健診内容	健診期間	健診場所
特定健診	熊谷市国民健康保険に加入している 40歳～74歳の方	身体計測(身長、体重等) 診察・血圧測定・血液検査 (脂質・肝機能・血糖・腎機能) 尿検査・貧血検査・心電図検査・尿酸検査	令和7年 3月末まで ※早めの受診を おすすめします。	市内の 指定医療機関
長寿健診	75歳以上の後期高齢者医療制度に加入している方 (65歳以上で一定の障がいがあると認定を受けて加入している方を含む)			

※人間ドック検査料の助成を希望する方、または既に受検済の方は受診できませんのでご注意ください。

※該当する方には、受診券・受診案内等を送付しています。届かない場合は、お問合わせください。

※市内の指定医療機関名は、受診案内に記載してあります。

※他の健康保険に加入している方は、加入している健康保険にお問合わせください。

詳しくは右記コードからご確認ください。

お問合わせ 保険年金課 ☎048-524-1111 内線276(特定健診)、302(長寿健診)



編集後記

くまがや農委だよりは、第77号から自治会の回覧となり配布方法が変更になりました。長年配布に御尽力いただいたJA支部長さんありがとうございました。

熊谷市の農業PRと農業政策などを情報提供し、みなさまに農業を理解して頂き、熊谷市農業の発展と楽しい農業になる為の情報提供を出来るような広報紙となるように努めていきます。ご意見等ありましたら農業委員会に連絡をお願い致します。

明日の明るい農業に向けて頑張ります。

(編集委員長 森田 豊)

編集委員

委員長	森田 豊
副委員長	中嶋 儀臣
委員	福島 清一
委員	石井 芳夫
委員	栗原 一夫
委員	吉田 正己
委員	柿沼 憲雄
委員	林 和弥
委員	木部 次一
委員	夏目 亮一